

“接触”機会ではなく“感染”機会の8割削減 コロナ弱者を保護しつつ健康若年者が集団免疫

2020年4月22日

1. 国民のとめどない不幸

- ・行動制限・外出自粛により多くの商店や会社の売上げが大幅減となり多数が減給・失業
- ・多数の国民が経済困窮し不幸のどん底に、自殺者が激増の恐れも

2. 新型コロナの特徴

- ・軽症・無症状者が気付かずに感染を拡大するため封じ込めは極めて困難
- ・感染者の大半は他者感染させないので、クラスター対策により抑制はできる
- ・重症化・死亡リスクが、高齢者・基礎疾患者は著しく高い一方、健康若年者は極めて低い
- ・感染が見られるのは「密閉」「密集」「密接」の3条件が同時に重なる場

3. 求められる効率的なコロナ対策

- ・GW明けまでの外出自粛では封じ込めを達成することは期待薄
- ・仮に封じ込めに成功しても海外からの流入で第二波・第三波の感染拡大の可能性大
- ・同等またはさらに厳しい外出自粛を年単位で継続することは国民の不幸を助長
- ・諸々の状況から集団免疫を受入れざるを得ず、その場合は人命被害を最小に
- ・内容を問わない闇雲な行動制限ではない科学的・合理的・効率的な感染抑制策が不可欠

4. コロナ対策に関する科学的な論考

- ・感染抑制に必要なのは“接触”機会ではなく“感染”機会の減少
- ・健康若年者の集団免疫により、重症化率が低く医療崩壊を回避し、人命被害も最小化

5. “接触”機会ではなく“感染”機会の8割削減

- ・クラスター対策、医療体制の整備、軽症者等の自宅療養、家庭内感染リスクの低減等は継続
- ・国民全員：徹底的な健康行動と会合・行動の3密回避（参加も企画も）
- ・3密に当たらない会合・行動の例示 ex. クラシックコンサート、屋外活動、少数観光旅行等
- ・3密を回避する方策の例示 ex. 発声時に近寄り過ぎない、短時間毎の換気等

6. コロナ弱者を保護しつつ健康若年者が集団免疫

- ・高齢者・基礎疾患患者：できる限りの行動自粛、体調不良時の早め受診
- ・健康若年者：通常通りの行動、高齢者・基礎疾患患者とのできる限りの接触回避